

第 49 回 技能五輪全国大会 ウェブデザイン職種競技課題

(第1版)

2011 年 11 月 25 日公開

(事 前 公 表)

注意: この競技課題は事前公表課題である。

競技に利用する素材、資料等については競技当日に公開する。

また、課題についてその内容を 10%程度修正・変更する。

目 次

1 競技課題.

2 サイト概要

3 課題制作要件

- 3.1 トップページの構成
- 3.2 ナビゲーション
- 3.3 アニメーション
- 3.4 管理者セクション
- 3.5 ユーザセクション
- 3.6 掲示板表示の為の仕様
- 3.7 『ウェブデザイナーズフォーラム』のアイデンティティ
- 3.8 アクセシビリティと操作性の基準
- 3.9 セキュリティ関係
- 3.10 競技課題素材について

4 機材およびサーバ等仕様

- 4.1 大会競技用PC
 - 4.1.1 アプリケーション
 - 4.1.2 ウェブブラウザ
- 4.2 競技用サーバ

5 評価基準

- 5.1 評価基準概要
- 5.2 採点における留意事項

6 注意事項

付録A メインメニューおよびフッターメニュー14

- A.1 メインメニュー構成
- A.2 フッターメニュー

1 競技課題

競技課題:『ウェブデザイナーズフォーラム』のウェブサイトデザイン

下記の 2. サイト概要をみたし、3. 課題制作要件に従い、

制限時間内に『ウェブデザイナーズフォーラム』のウェブサイトのデザインを行うこと。

競技終了時までに課題を作成し指定されたウェブサーバにアップロードして大会指定ブラウザにて閲覧できる状態にしておくこと。指定したウェブサーバにアップロードした課題作品のみを採点するため、競技用PC に完成した状態であっても、アップロードされない課題に対しては入賞対象から除外する。

競技終了後、作成したウェブサイトのデザインコンセプト(制作意図)などについて、各自 3 分間のプレゼンテーションを実施する。

2 サイト概要

「ウェブデザイナーズフォーラム」は、制作会社の所属ウェブデザイナー、企業のインハウスのウェブデザイナー、またフリーのウェブデザイナー達により、組織された、非営利団体で、ウェブデザインの普及、啓蒙に関わる様々な活動を行っています。

「ウェブデザイナーズフォーラム」は、2011年3月11日に創設され、ウェブデザインに関する業界および社会の一助となるよう活動を進めている。本競技では、「ウェブデザイナーズフォーラム」のサイトをユーザビリティに富み、アクセシビリティおよびCMS等を加えたサイトをデザインすることとする。

サイトではサイト管理者がサイトを管理(ページの追加、削除、編集、更新)、また、更にサイトにユーザ登録機能および登録ユーザによるウェブデザイン情報登録機能を持ち、そのユーザに対して、ユーザ登録、および各ユーザの提供する情報を登録し表示するための機能が必要である。

このサイト自体がウェブデザイン業界に対する情報発信という目的があり、メインターゲットとしては、ウェブデザインについて興味のある幅広いユーザ層が対象となる。サイト管理者やユーザからのファイルのアップロードなどの操作があるため、直感的で使いやすいサイトにする必要がある。ここで重要なのは、幅広い層のユーザから登録、利用されることを考慮して、デザインとユーザビリティのバランスを配慮することである。

最終的に、このサイトは、「ウェブデザイナーズフォーラム」の目的と合致し、役に立つものとならなくてはならない。

このウェブサイトは、幅広い人々が閲覧できるものでなくてはならないため、基本的な操作性、アクセシビリティ、W3C (XHTML、CSS) のガイドラインに必ず準拠している必要がある。

3 課題制作要件

課題は、「ウェブデザイナーズフォーラム」が提供する情報とメディアを利用して、「ウェブデザイナーズフォーラム」のウェブポータルを、一から構築することである。この情報は、テキスト、画像、文書で構成されている。特に以下の項目についてサイトの構成およびナビゲーション項目については、各選手が検討して構成すること。

トップページには、更新情報、グローバルナビゲーション、各種必要と思われる情報、サイトマップ(リンク)、

アクセス(リンク)他、必要と思われる情報が含まれていなければならない。下記の「■」の項目については、必ずメインメニューに含めて構成されなければならない。「・」の項目については、どのように構成すればユーザにとって利用しやすいかを考慮して構成を決定してよい。ただし■のページは必ず作成する必要があるが、■□のページおよび■、■□以下の階層ページについてはダミーページでかまわない。

トップページの登録データ数については、登録ユーザの数と掲示板に投稿されたデータの総数を表示すること。

■ トップページ

- ・更新情報

■□ ウェブデザイナーズフォーラムとは

(ウェブデザイナーズフォーラムについての情報)

- ・ウェブデザイナーズフォーラムとは？
- ・ウェブデザイナーズフォーラムの組織

■□ ウェブデザインを学ぶ

- ・ウェブデザインを学ぶために
- ・ウェブデザイン教育機関情報

■□ ウェブデザイナーズフォーラム

(ウェブデザインに関する各種情報提供)

- ・「国際標準規格」
- ・「ユーザビリティ」
- ・「アクセシビティ」
- ・「モバイル」

■□ リンク集

(ウェブデザインに関する団体、機関等についての情報提供)

- ユーザ登録ページ
- ウェブデザイン情報共有ページ(掲示板)
- サイトマップ

割り当てられた時間内に、選手は自分の課題を完成させるのに、どの程度の作業が必要なのか、決めなくてはならない。選手は指定されている場合を除き、必ずしも提供されるすべての情報と素材

全てを活用する必要はなく、各自のコンセプト・デザインを実現するために独自の情報の追加と素材の作成を行うことができる。

また、課題ウェブサイトには次にあげるデザイン要素と機能が、含まれていなくてはならない。

3.1 トップページの構成

- ・ウェブサイトの統計情報
 1. 登録データ数(ユーザ数と掲示板における情報の数)
 - ・新着情報および新着情報一覧へのリンク
 - ・コンテンツエリアに少なくとも画像 2 枚
 - ・『ウェブデザイナーズフォーラム』をテーマとしたアニメーション

3.2 ナビゲーション

- ・グローバルナビゲーションの項目を追加するのに十分なスペースが必要である。
- ・メインメニューの構成[A.1 を参照]
- ・フッターメニュー[A.2 を参照]
- ・ログインと登録の機能が用意されている

3.3 アニメーション

- ・『ウェブデザイナーズフォーラム』のウェブサイトに相応しいアニメーションを提示し、サイトのイメージ、ブランディング効果を高めること。必ずトップページにはFlashまたは、Silverlight、GIFアニメーションを配置する事とする。このアニメーションは『ウェブデザイナーズフォーラム』のテーマを反映したもので、かつ、サイトの目的を説明するものでなくてはならない。

3.4 ユーザセクション

3.4.1 ユーザ登録

- ・ユーザは登録したメールアドレスとパスワードでログインできる。
- ・ユーザはログアウトできる。
- ・ユーザ登録に必要なデータ:
 - 名前*
 - 名前(ひらがな)*
 - メールアドレス(ログインユーザネームとして使用)*
 - URL(自分の代表的なウェブサイトを登録)
 - パスワード*

*必須なフィールド

フォームの各フィールドの名前とそれを格納するDB のテーブルの列名は同じにすること。

3.4.2 ユーザによる情報登録

ユーザによる情報登録ページの処理は以下のプロセスとする。

1. 揭示板ページにアクセスをする。
2. 未ログインの場合はメールとパスワードを利用してウェブサイトにログインする。
3. 入力フォームは最初は非表示とし、クリックなどのアクションで表示させる。
4. フォームにタイトルと内容を記入して送信ボタンをクリック
5. データはAjaxで送信され、サーバ上のデータベースに保存される。サーバからの戻り値を用いて揭示板に新規の投稿が表示される。

また、ユーザが投稿する情報には以下のものが含まれること。

▲ タイトル

▲ 内容

ニックネームは投稿したユーザのものを利用し、ユーザ用テーブルのものとDB内部で関連付けをしておくこと。

掲示板で投稿に使うAjaxのJavaScriptファイルは提供ファイルに含まれる。原則として、このファイルを適切に修正して使用し、サーバサイドのプログラムを完成させること。このファイルでは、サーバからの戻りとして `ret` を用いている。この値が 1 の時、サーバサイドで正常に処理が終わつた、2 の時、サーバサイドでエラーが生じた、3 の時 `login`していない、と判定している。

ただし、このJavaScriptのソースを用いずにフルスクラッチで作成しても構わない。

3.6 揭示板表示の為の仕様

- ・ 投稿者名で投稿を検索できること。順番は新しい順とする。
- ・ 一覧および検索結果はページネートする必要があり、ヒットした検索結果の数を返す必要がある。
- ・ 揭示板は誰でも閲覧可能であるが、ログインしていない場合はニックネームを「*****」と表示させること

3.7 『ウェブデザイナーズフォーラム』のアイデンティティ

- ・『ウェブデザイナーズフォーラム』の一貫したアイデンティティがウェブサイトに表現されていること。
- ・このアイデンティティはユニークなもので、『ウェブデザイナーズフォーラム』のアイデンティティに即したものでなくてはならない。ウェブデザイナーズフォーラムのロゴについては、日本語表記のカタカナ、英語表記の WEB DESIGNER'S FORUM または、 Web Designer's Forum (大文字小文字の組み合わせは以上 2 種)の組織名が可読できる状態で必ず含まれなければならない。
- ・サイトロゴデータは、選手各自でデザインすること。ロゴデータのフォント、色等は自由に設定してかまわない。

3.8 アクセシビリティと操作性の基準

- ・ウェブサイトのコードがXHTML1.0 Strict に準拠していること。
- ・img 要素においてalt 属性を使用していること。
- ・内容やキーワードなど、title とmeta 要素に独特のものを使用していること。
- ・サイトはユーザフレンドリーで使いやすいこと。
- ・サイトはクロスブラウザ(Firefox/IE)に対応していること。
- ・エンドユーザがボタン等でフォントの大きさを変更できるようにしていること。
- ・レイアウトのフォーマットなどにはCSS を利用していること。
 - table 要素は表として使うのは許されるが、レイアウトに使ってはならない。
 - CSS が無効化されている場合、ページのコンテンツはもとの論理構造を維持していること。
 - 印刷用のCSS を用意し、印刷時に使用できること。
- ・ユーザー覧表では行番号、項目名がわかるようにしていること。
- ・テキストと背景色に効果的なコントラストを設定していること。
- ・サイトのルックアンドフィールを増すのにホワイトスペースを有効に活用していること。
- ・ナビゲーション・システムがサイト全体において、一貫性を維持していること。
- ・PHP, XHTML, JavaScript, CSS に内部コメントをつけること。
- ・プレゼンテーションのコード(XHTML) と構造化された関数などのコードを、明確に分けていること。
- ・フォーム入力フィールドのラベルタグを利用していること。
- ・ユーザ登録フォームおよび情報登録ページにおいて、入力された値を検証し、その結果を知らせるメッセージを表示すること。
- ・ポストの時にダブルクリックしても登録は一回だけにすること。

3.9 セキュリティ関係

- ・データベースにあるすべてのパスワードを暗号化すること。
- ・PHP やMySQL コード・インジェクション対策をすること。
- ・各フォームにおいてフォームに入力された値の正当性を確認すること。
- ・パスワードリマインダ機能を実装すること。
- ・多重登録禁止するためメールアドレスが登録されているか確認すること。

3.10 競技課題素材について

- ・各自のデスクトップに配置された、materialフォルダや配布された「資料」を参考にして作業を進めるのこと。
- ・materialフォルダのimageフォルダおよび、vectorフォルダ内の各イメージ素材より適切なものを選択して、適切に加工して課題に利用することが出来る。
- ・materialフォルダのtextフォルダ内の素材より適切なものを選択して、課題に利用することが出来る。

4 機材およびサーバ等仕様

4.1 大会競技用PC

競技に利用するPC はノートPC である。PC にはWindows 7 がインストールされキーボードおよびマウスが備えられている。またPC はLAN で競技用ネットワークおよびサーバに接続されているが、インターネットにアクセスすることは出来ない。競技者はUSB接続可能でドライバソフトの不要なキーボードおよびマウスを持参して競技用PCに接続して使用することができる。

4.1.1 アプリケーション

競技用PC には、以下のウェブサーバ、ウェブプログラミング環境およびウェブコンテンツ作成用ソフトウェアがインストール可能な状態にあるか、インストールされている。競技では以下のソフト以外は、利用することは出来ない。また、各種サーバ、開発環境は競技の規定に従い利用することが出来る。なお、競技に利用するアプリケーションのバージョンなどは、競技の際に変更する場合もあるので留意しておくこと。

- ・ テストサーバ環境
 - Apache 2.x、PHP 5.x、MySQL 5.x、phpMyAdmin 3.x、
 - <http://www.php.net/docs.php> の日本語版マニュアル
- ・ 画像処理ソフトウェア ※1
 - Adobe PhotoshopCS5、Adobe IllustratorCS5、Adobe FireworksCS5、Adobe AcrobatCS5
- ・ アニメーション作成ソフトウェア ※1
 - Adobe FlashCS5、Microsoft Expression Studio
- ・ ウェブエディタおよびウェブコンテンツ作成ソフトウェア ※1
 - Adobe DreamweaverCS5
- ・ テキストエディタ
 - サクラエディタ、Terapad
- ・ ドキュメント作成ソフトウェア
 - Open Office org
- ・ 通信・ファイル転送ソフトウェア
 - PuTTY、FileZilla
- ・ JavaScript ライブラリ
 - prototype、jQuery

それぞれのソフトウェアについては、標準設定でインストールを行なっている。また、Windows 7 標準のアクセサリ、ワードパッド、メモ帳等が利用可能である。特に競技委員からの指示・説明がない場合、競技用PC に既にインストールしてあるソフトウェアを利用することができる。またテキストエディタについては、競技者は上記ソフトウェアより選択して競技用PC にインストールして利用することができる。デスクトップのfreesoft フォルダにインストール用データが収納されている。なお、競技委員は以上の ソフトウェア使用法に関わる一切の質問に対する回答、操作補助は行わない。

テストサーバ環境はXAMPP によりインストールされる。

※1 Adobe社のソフトウェアは、Adobe Web Premium CS 5.5 によってデフォルト設定によりインストールされる。

4.1.2 ウェブブラウザ

本競技では以下を大会指定ウェブブラウザとする。

- ・ Mozilla Firefox8 以降の安定版
- ・ Microsoft Internet Explorer 9

上記ウェブブラウザの安定版がAdobe Flash Player、MicroSoft Silverlight などとともに競技用PCにインストールされ、利用できる状態になっている。また、Firefox にはWeb Developer、Firebug などのアドインがインストールされており利用することができる。

4.2 競技用サーバ

競技に利用するサーバおよびネットワークは下記の仕様となる。選手は各自与えられたID、パスワード、権限に基づいて以下のサービスを利用することが可能である。

表 1 競技用サーバ上のサービス一覧

ウェブサーバ	Apache 2.x
ウェブプログラミング	PHP 5.x
データベース	MySQL 5.x
DB 支援	phpMyAdmin
通信	SSH
ネットワーク	DNS
Validator	HTML/CSS Validator

競技用サーバは、ウェブサーバ、ウェブプログラミング環境ネットワークにより利用することができる。また、各種サーバ、開発環境は競技の規定に従い、利用することが出来る。

Apache、PHP、MySQL については競技用PC にもインストールされているが、競技用PC の環境はあくまでもテスト環境である。競技用サーバについては共用サーバとなるため、設定ファイルの変更はできない。

それぞれのサーバサービスについて選手は、利用することが可能である。特に競技委員からの指示・説明がない場合、与えられた権限の範囲で各種サーバサービスを利用したウェブサイトを構築することが可能である。なお、競技実施中、競技委員はサーバの使用に関わる一切の質問に対する回答、操作補助は行わない。

5 評価基準

5.1 評価基準概要

1. コンセプト(必須)

- ・コンテンツの内容を理解し、内容に見合った、技術、デザインが行われているか
- ・自分なりのアイディアを持ちデザインを行っているか

2. HTML/XHTML(必須)

- ・W3C(World Wide Web Consortium) による勧告に、出来る限り準ずること
- ・論理的なマークアップが行われているか
- ・適切に構造化されているか
- ・技術仕様にしたがって適切にページを作成することが出来るか

3. CSS(必須)

- ・リンク(外部) スタイルシートを使用しているか
- ・CSS が適切に使用されているか

4. GIF/JPEG/PNG(必須)

- ・画質、階調、圧縮技術などのウェブ用画像ファイルについての知識があり最適化が行われているか
- ・GIF/JPEG/PNG 各フォーマットの特徴を理解し、適切に使い分けることが出来ているか

5. インタフェースデザイン・ユーザビリティ(必須)

- ・ユーザビリティに配慮しているか
- ・配色、ボタンなど各要素のサイズなどが適切か
- ・使いやすい情報デザインがなされているか

6. レイアウト(必須)

- ・情報伝達の目的を達成するためコンテンツの文章、画像について構成がよく考えられたレイアウトであるか

7. インタラクティブサイト構築

- ・セキュリティなどを考慮しPHP/DBを連携させたサイト構築ができているか
- ・JavaScriptを使いユーザビリティを高めているか

8. 計画性(必須)

- ・要求を満たし、情報が漏れなく構築され完成された状態になっているか
- ・サーバにアップロードされウェブブラウザで閲覧できる状態になっているか

9. プレゼンテーション(必須)

- ・プレゼンテーションが行われ要旨が明確に伝達されたか

10. クリエイティビティ(加点)

- ・使用されている画像などの表現方法に独創性・創造性があるか
- ・コンテンツを特徴づける為の努力がされ、魅力に富んでいるサイトになっているか

11. アクセシビリティ(加点)

- ・アクセシビリティに配慮しているか
- ・JIS X8341-3(およびWCAG 等) を特に意識した制作がなされているか
- ・ウェブスタンダード(WaSP によるWeb Standard) の考えに基づいているか

5.2 採点における留意事項

- ・採点は競技委員のモニターに表示して行なう。
- ・競技 1 日目(制限時間 2 時間以内)に、「ウェブデザイナーズフォーラム」のロゴおよび主要ページのモックアップを作成して提出する必要がある。競技 1 日目のデータは競技 1 日目終了後の時点のものが採点される。以降の競技において更新された場合も採点には考慮されない。
- ・デザインやスクリーンショット、キャプチャ画像は、デスクトップ上にコンセプトフォルダを作成し、そこに確実に保存する。
- ・文書には読みやすいように名前、座席番号を記述すること。
- ・トップページおよびウェブデザイン情報一覧ページのデザインの画像。[ファイル名は画像は homepage.jpg、list.jpg という名前にし、コンセプトフォルダに必ず保存しておくこと]
ウェブデザイン情報一覧には最低でも 3 件のユーザからの情報が載っていること。(これには提供されている材料を使う必要はない)
- ・ターゲットグループ、サイトの目的、使用したフォント、使用色を選択した理由を簡潔に記述する。
- ・トップページのワイヤーフレームやストーリーボードのスケッチを手書きもしくはデジタルデータで提出する。
- ・プランニングに関するすべてのファイルは、競技1日目終了時までに、デスクトップ上のコンセプトフォルダに保存すること。作業内容はすべてこのフォルダにあるもので評価する。他の場所に保存されているものは評価しない。
- ・すべてのファイルはサーバ上に保存すること。作業内容はすべてサーバにあるもので評価する。競技用PC に保存されているものは評価しない。
- ・データベースのダンプはuser0XX.sql という名前で、デスクトップ上のコンセプトフォルダに置いておく。

6 注意事項

- 筆記用具は、大会主催者より提供を行なう。また、和英、英和辞書について持込を許可する。手荷物等については、持込を許可するが、競技に関係のないもの、(辞書機能などを内蔵した物品、ポケットベル、携帯電話等)については、競技中に利用することは出来ない。机上に置けるものは、筆記用具・時計(必要であれば目薬)等とする。また競技中、水分補給の為のペットボトル等の閉栓可能な飲料などの持ち込みに関しては、競技委員等の指示に従うこと。また飲料が原因でトラブル等が発生しても、競技委員は一切、関知しない。また、会場では他の競技の騒音等も発生することが予想されるため、防音の為に、耳栓およびイヤフォンの持込を許可する。音楽等のデータを持ち込む場合は、CD等のメディアで持ち込むこと。USBメモリや音楽プレイヤー等の持ち込みは許可しない。
- 計時については、競技用PC の時計で確認するのではなく、競技委員に説明された計時機器等を利 用すること。また、競技の際には、1 時間経過、2 時間経過、3 時間経過、競技終了 10 分前、競技終了 5 分前、競技終了 1 分前に競技委員からアナウンスを行なう。
- 服装等は、競技にふさわしいものを着用すること。空調等の問題もあるため、若干の寒暖の変動に対処できるように留意すること。
- 競技用PCについては、事前にその動作を確認しておくこと。また、会場下見の際に競技用サーバの接続等設定等について説明を行うので、接続方法、操作方法について必ず確認を行うこと。また、その際、各自環境設定のための時間を与えるので、PCの環境設定等を行うこと。
- 競技用PCから、インターネット(競技用ネットワーク外)へアクセスすることはできない。
- 事前に作成した独自のテンプレートや素材を利用することはできない。
- 大会主催者が用意するソフトウェアに標準の状態でインストールされている、素材データやテンプレートについては、各自の判断で利用することは許可する。
- 競技中に用具の貸し借り、PCおよびデータの交換は禁止する。
- USB方式のキーボードおよびマウスについては、ドライバを新規で組み込む必要のないものに限っては持込を許可する。その他の入力デバイス(タブレット等)については、持ち込みは不可とする。また、持込する入力機器については、競技用PCで動作しない、不安定になる場合等もあるため、選手各自の責任とし各自で判断すること。競技委員は一切の責任を持たない。
- 他選手の競技を妨害する行為をしないこと。
- 機器等のトラブルが発生した場合は、拳手をして競技委員または補佐員に、待ち時間の記録をし らうこと。なお、この際に作業はしてはならない。また、競技用PC がトラブルで作成中に停止(フリーズ)した場合、その停止時間も測定する。作業が上記理由等で行なえない場合、その繰越分は、競技終了時に連続して行なう事とする。プレゼンテーションの順番および割当て時間を越える場合には、別途、競技委員により協議を行い、変更する場合がある。

12. 競技用PC のトラブルにより作成中のデータが失われてしまう場合もあるため、各自データの保存やバックアップについては、留意して作業を行なうこと。作成中のデータに関しては、競技用PC のハードディスクおよび競技用サーバ、データ保存用のメディアとしてUSB メモリ(64MB 以上を各競技用PC に設置)が利用できるので、以上のデータ保存可能な場所にデータを適宜バックアップすることを推奨する。
13. 制限時間内に作業完了した場合、「作業完了」と挙手をし、競技委員に意思表示を行なうこと。
14. 競技中に不正があった場合、また、競技委員に不正を指摘された場合、選手はすべての作業を中止して退場すること。
15. 競技中のトイレについては各自適宜行う。その際は必ず競技委員に申し出ること。なお、所要時間については作業時間に含まれる。
16. 安全衛生上の観点から各自、作業中に適当な休憩を取ること。その際に競技会場からの退出は禁止する。また他の選手の妨害とならないように注意すること。
17. 選手はトイレ又は休憩、昼食時には、PC をログオフやロックするなど、アプリケーション等の操作画面、ブラウザなどが表示されないよう配慮すること。
18. 選手は休憩や昼食時、競技課題内容に関して、監督者及び他の競技参加選手と会話することはできない。
19. 制作した課題の著作権は大会主催者である中央職業能力開発協会に帰属する。しかし制作した著作物の引用の責任については制作者側にあるものとする。また、課題に使用した素材等の著作権は素材提供先の佐賀県に帰属する。

付録A メインメニューおよびフッターメニュー

A.1 メインメニューの構成

トップページ
ウェブデザイナーズフォーラムとは
ウェブデザインを学ぶ
ウェブデザイナーフォーラム
ウェブデザイン情報
サイトマップ
リンク集

A.2 フッターメニュー

- ・ プライバシーポリシー
- ・ 著作権
- ・ リーガル